

主体的に活動する意欲を育てる学級づくり

－ 一人一人のよさが生きる係活動の工夫を通して －

目 次

I	研究テーマ設定の理由	1
II	研究の仮説	1
III	研究の全体構想図	2
IV	研究の内容	3
1	学級経営について	3
(1)	学級経営の内容	3
(2)	学級担任の経営姿勢	3
(3)	望ましい学級集団づくり	4
2	学級経営における係活動の意義付け	4
(1)	係活動の意義と学級経営	4
(2)	学校教育目標の具現化	5
(3)	係活動の学級活動年間計画への位置付け	6
3	一人一人のよさが生きる係活動の支援	8
(1)	一人一人のよさを生かすとは	8
(2)	係活動と当番活動のちがい	8
(3)	係活動のめやすと段階的指導の工夫	9
(4)	係活動の組織の仕方	10
(5)	係活動への意識化・意欲を高めるための工夫	11
(6)	活動反省への工夫	12
V	活動の実際	13
1	係活動の意義付け（話し合い活動）	13
2	係活動の見直し（話し合い活動）	14
3	話し合い（係活動の見直し）後の活動の様子	15
4	係の発表会（集会活動）	17
VI	研究の成果と今後の課題	20

宜野湾市立大謝名小学校

上原 奈美

主体的に活動する意欲を育てる学級づくり

— 一人一人のよさが生きる係活動の工夫を通して —

宜野湾市立大謝名小学校 教諭 上原 奈美

I 研究テーマ設定の理由

科学技術の発展に伴い、国際化、情報化、高齢化、価値観の多様化、少子化や経済構造の変化など、今日我が国の社会は大きく変化しており、このような変化を踏まえた新しい時代の教育のあり方が問われている。また、子供たちを取り巻く家庭や地域社会における人間関係が希薄化したことから対人関係の未熟さを生み、いじめや登校拒否などさまざまな教育上の問題にも直面している。

このことから、これからの学校教育においては、子供同士でかかわり合い、活動を促し、支援し、一人一人の個性を發揮できるような望ましい人間関係を作り出すことが大切であるととも、社会の変化に主体的に対応して生きていくことができる子供を育成し、これまで以上に子供の側に立って、子供を中心とした主体的な学習や生活が展開できる学級経営が望まれている。

子供に主体的な態度を育てることは、あらゆる教育活動において配慮されなければならないことである。その中でも子供たちがより主体的に活動する姿は、「望ましい集団活動を通して自主的、実践的な態度を育てる」という特質をもつ特別活動、その中でもとくに学級活動や児童会活動など自発的、自治的な実践活動において顕著に現れる。

その具体的な活動の一つが係活動である。しかし、これまで実践してきた学級経営における係活動を振り返ってみると、子供たち自ら必要な係を決め、計画を立て、始めのうちは意欲的に取り組んでいるのだが、しだいに意欲がうすれ、活動をなまけたり、教師に指示されないと活動をしない状態になることが多かった。その活動停滞の様子から原因を考えてみると、子供の側からは、

- ・ 希望する係に所属できず不満を抱きながら活動している子がいた。
- ・ めあてをもたずに係活動に参加し、意欲的に取り組むことができない子がいた。

などが挙げられる。次に、教師の側から見ると、

- ・ 子供一人一人についての理解が不十分であった。
- ・ 子供たちまかせで子供の創意工夫が生かされる係の設置がなされていなかった。
- ・ 主体的に活動させるような手立てや適切な評価が不十分なため、継続的、発展的な活動に結び付けることが難しかった。

という点が要因として浮かび上がってきた。以上のことから、一人一人の子供が、そのよさや可能性をその子なりに十分發揮させることができず、進んで活動しようとする意欲をも減退させてしまったのではないかと思われる。

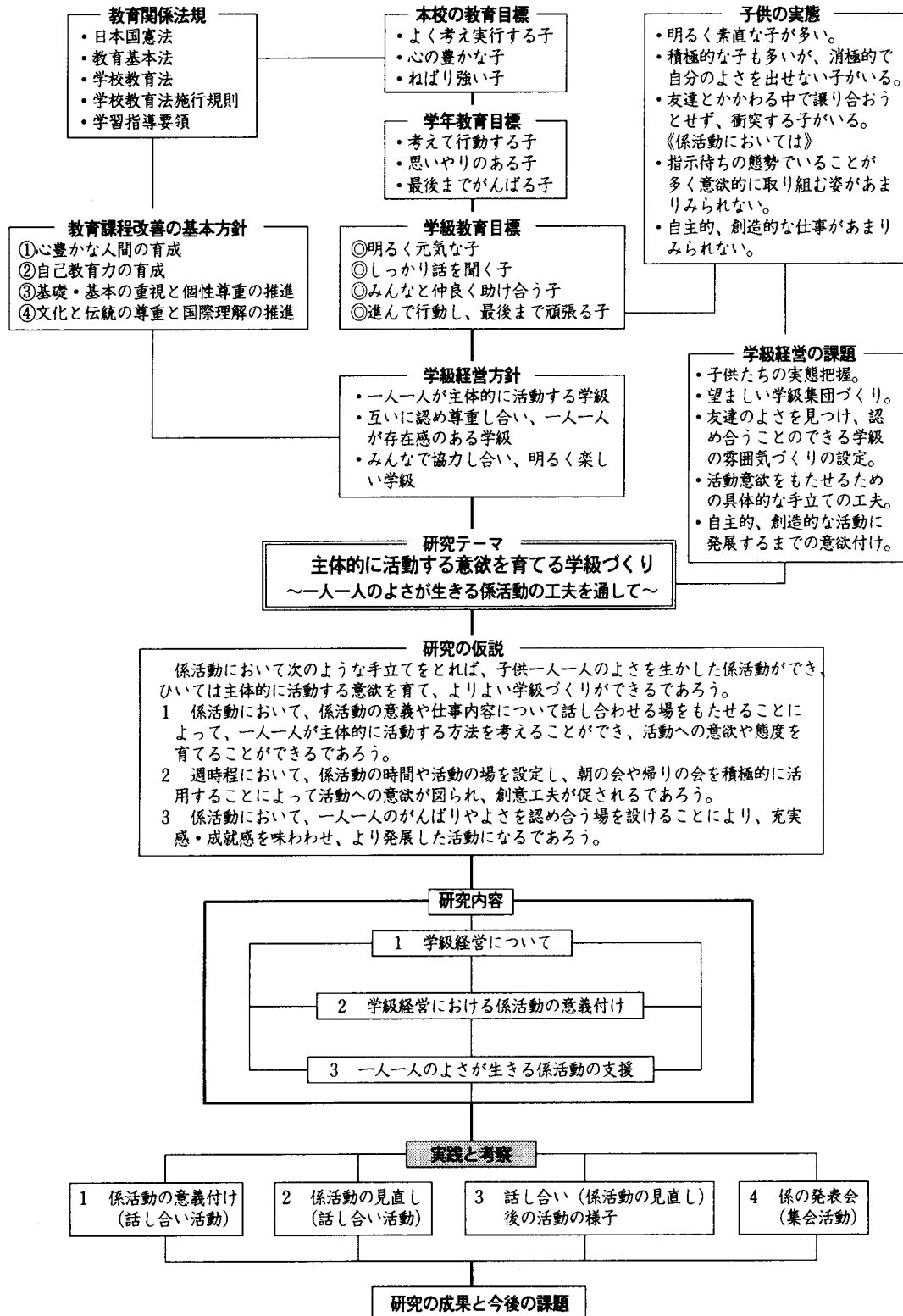
そこで、これまでの指導の在り方を反省し、一人一人のよさが生きるように係活動を工夫し充実させることによって、子供たちが意欲をもって主体的に活動していく学級づくりができるのではないかと考え、本テーマを設定した。

II 研究の仮説

係活動において次のような手立てをとれば、子供一人一人のよさを生かした活動ができ、ひいては主体的に活動する意欲を育て、よりよい学級づくりができるであろう。

- 1 係活動において、係活動の意義や仕事内容について話し合わせる場をもたせることによって、一人一人が主体的に活動する方法を考えることができ、活動への意欲や態度を育てることができるであろう。
- 2 週時程において、係活動の時間や活動の場を設定し、朝の会や帰りの会を積極的に活用することによって活動への意欲が図られ、創意工夫が促されるであろう。
- 3 係活動において、一人一人のがんばりやよさを認め合う場を設けることにより、充実感・成就感を味わわせ、より発展した活動になるであろう。

III 研究の全体構想図

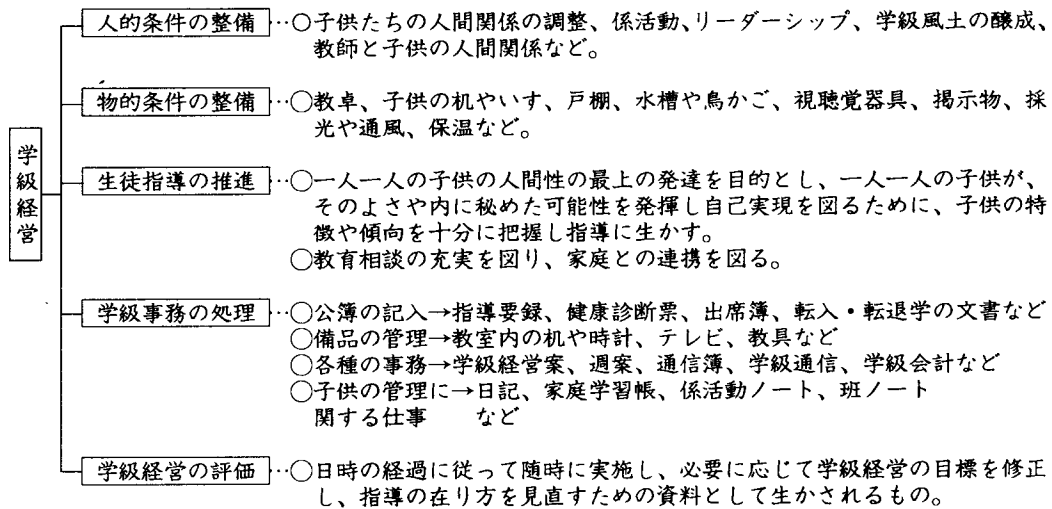


Ⅳ 研究の内容

1 学級経営について

(1) 学級経営の内容

学級経営については多くの人に論じられているが、文部省『小学校 特別活動 指導資料』によると、「学校経営の基本方針の基に、学級を単位として展開される様々な教育指導の成果を上げるために必要な条件整備を行い、運営すること」とある。教師は、学級内の人間関係を深める配慮、教室内の物的環境を好ましいものにする配慮や具体的な手立てを施し、一人一人の子供にとって居場所があり、学級生活に魅力を感じ、安心して学習や生活が行えるように支援する必要がある、ここに学級経営の意義があると言える。成田國英は『学級経営の基礎・基本』の中で、学級経営の内容を次の5つに分類している。



(2) 学級担任の経営姿勢

子供が生き生きと活動するのは、

- ・自分が成長していく可能性が感じられるとき
- ・させられてするのではなく、自分たちで作り上げていく喜びがあるとき
- ・仲間とともに成し遂げていく喜びがあるとき
- ・やってみることが実現できたり、実現までいかなくても少しでも自分たちの願いが実現の方向へ向いていったりするとき

と、述べられている。（『総合教育技術』1994年4月号）

子供たちは自分に自信をもち、自分の可能性を感じる時に生き生きと活動する。学習においても教師や大人から教え込まれるよりも、子供自身が積極的にかかわり、主体的、自発的な態度によって進められるほうが効果的に進められる。教師の指示、命令で進められる「教え込み」から出発せず、子供の感動、興味、発見などから出発する「支援・援助」へと、指導の在り方が問われている。

学級担任の経営姿勢

- (1) 子供たち一人一人を愛情をもって見つめること。
- (2) どの子供に対しても公平であること。
- (3) 一人一人の言動、心の観察、生育歴、家庭、性格、交友状況などを把握すること。
(心のこもった見つめ方のもとになる)
- (4) ほめてやる。励ましてやる。慰めてやる。これらのことを一人一人に応じて行うことによって、信頼関係が生まれ、いたわり合い、励まし合い、助け合い、認め合い、尊敬し合う間柄に育っていく。望ましい人間関係を育成することで、明るく、暖かく、生き生きとした学級が作られる。

(平成4年度 初任者研修資料より)

(3) 望ましい学級集団づくり

学級担任の仕事は、運命的に出会った学級の子供たちとともに、学校での生活を共にしながら、望ましい集団を作り上げていくことであり、この望ましい集団とは、「より高次の目標に向かって、意欲的・積極的に行動し、質を高めていく集団」のことである。

学級集団のもつ雰囲気は、教室内の人的・物的環境など、諸々の要因の総合によって形成されるものであり、中でも、学級担任の人間観、教育観が大きな影響力をもっている。そして、学級集団の雰囲気は、そこにいる子供たちの行動や考え方に直接的・間接的に影響を及ぼし、人間形成にも大きな役割を果たしている。

したがって、この学級の集団をどのように形成していくか、その方策を示していくことが学級経営の大きな柱として位置付けられる必要がある。

学級集団づくりの考え方として示唆を与えてくれるのが、『望ましい集団づくり10カ条』である。

望ましい集団づくり10カ条

- ① 活動内容が、子供の発達や興味に合致していること
- ② 目標やねらいに共通の理解をもつこと
- ③ 参加意欲を起こさせるために、情報を提供すること
- ④ 企画や計画に参加させること
- ⑤ ものごとを決めるときには、個々の意思を尊重すること
- ⑥ 子供の能力や適性を考え、適切な役割を与えること
- ⑦ すでにできている集団の特長を尊重し活用すること
- ⑧ 集団としてまとまりを欠きやすい子供を早く発見し、個別指導をすること
- ⑨ 一人一人の個人的欲求を充足させること
- ⑩ 個々の子の考えや活動を誉めること

(『学級経営70のポイント』東洋館出版社)

2 学級経営における係活動の意義付け

(1) 係活動の意義と学級経営

係の活動は、教師が学級を経営していく上での必要感から生まれる当番活動とは異なり、子供たちが楽しく豊かな学級生活を目指して、自分たちでできる仕事を自分たちで見つけだし、創意工夫することによって学級生活の充実と向上を図るための自発的・自治的な実践活動である。

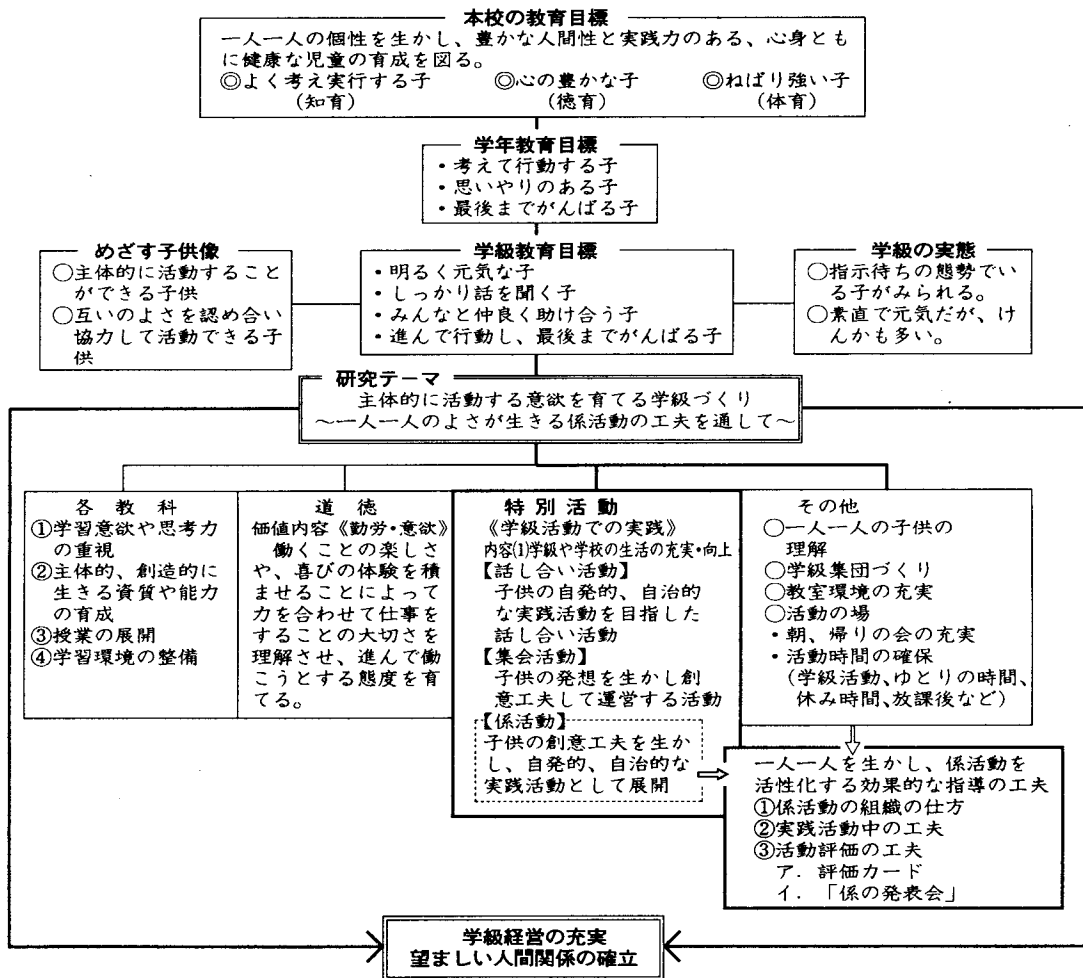
係活動の意義として次の三つが上げられる。

- ◇ 学級内の仕事を分担処理することにより、よりよい学級生活を実現する活動である。
- ◇ 係活動はだれでも主人公になれ、やりがいや生きがいをもつことができる活動である。
- ◇ 係活動は、自主的、自治的能力、協力心、協働意識を身に付けるために最も適した活動の一つである。

係活動は、学級のみならず活動していく中で、自分を見つめ、自分のよさを発見し、さらにそれを伸長し、自分自身を高めていくことのできる活動である。また、友達に期待され、支えられ、励まされながら活動していく過程で、子供たちに「自主性」「社会性」「創造性」「思いやり」や「責任感」等、社会の成員としての基礎的資質を身に付けさせることができるということから、係活動は、豊かな人間性を培う重要な教育活動の一つであると言える。このことを深く認識した上で、係活動を組織し、学級経営をすすめることが大切である。

(2) 学校教育目標の具現化

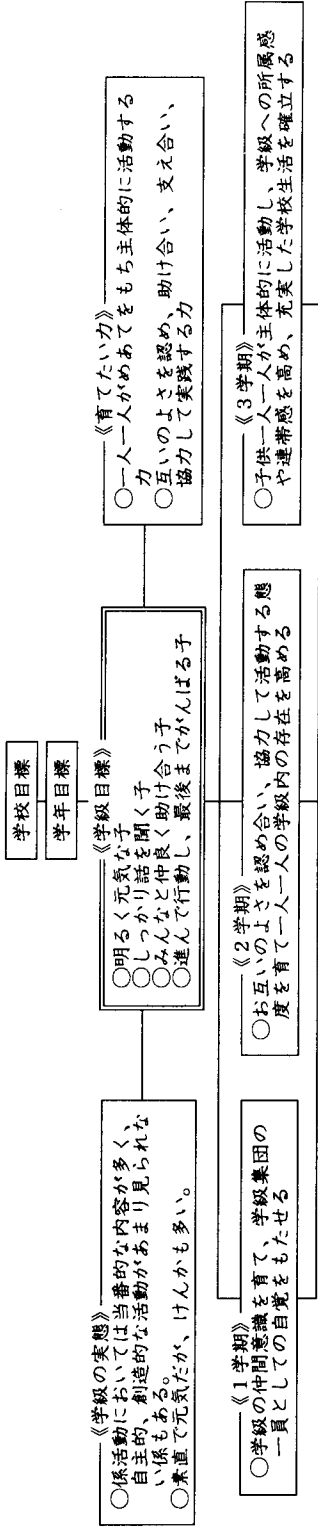
本校では、新しい時代を担う人間性豊かな子供たちの育成をめざして、教育目標を掲げており、これをうけて学級経営のなかでは、次のように具現化した。



(3) 係活動の学級活動年間計画への位置付け

各係が活動する時間は、学級活動の時間として十分配慮しなければならぬ。学級活動は年間35時間配当されているが、内容(1)において、係活動の題材として意図的、計画的に時間を確保し、活動の継続と充実・向上を図るため、学級活動の年間計画を作成した。

学級活動年間指導計画案



《特別活動の目標》
望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。

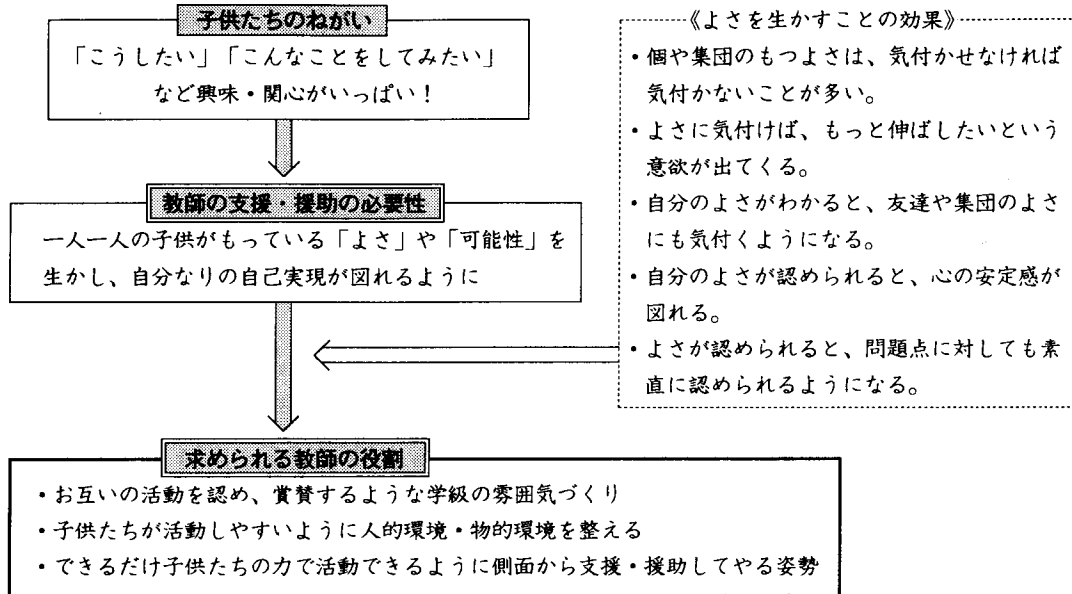
月	学級活動		特別活動		生徒指導		
	学級生活の充実と向上について	係活動についての題材	学級活動	特別活動			
4月	<p>◎学級の仲間意識を育てる時期</p> <p>○仲間意識を育てる</p>	<p>(1) 学級や学校生活の充実と向上について</p> <p>係活動についての題材</p> <p>○1学期の係を決めよう ・係活動の計画を立てよう</p> <p>○係活動を見直そう</p>	<p>(2) 日常の生活や学習への適応及び健康に関すること</p> <p>○こんな4年生になりたい ・楽しい春の遠足にしよう</p> <p>・楽しい給食</p>	<p>児童会活動</p> <p>・1年生を迎える会</p> <p>・こいのぼり集会</p>	<p>クラブ活動</p> <p>・前期クラブ活動発足式</p> <p>・クラブ活動</p>	<p>学校行事(諸行事)</p> <p>・始業式 ・身体測定</p> <p>・春の遠足 ・諸検査(歯科・貧血・視力・聴力)</p> <p>・プール開き ・読書旬間 ・内科検診</p>	<p>生徒指導のめあて</p> <p>・学校のきまりを守り新しい出発をしよう</p> <p>・みんなのものを大切にしよう</p> <p>・人の話をしつかり聞こう</p>
5月	<p>○学級集団の一員としての自覚をもたせる</p>	<p>○「1学期の係を決めよう」の計画を立てよう</p> <p>○「係活動の見直し」を行う</p>	<p>○「1学期の仲間意識を育てよう」の計画を立てよう</p> <p>○「係活動の見直し」を行う</p>	<p>・1学期の仲間意識を育てよう</p> <p>・1学期の係を決めよう</p> <p>・1学期の仲間意識を育てよう</p>	<p>・1学期の仲間意識を育てよう</p> <p>・1学期の係を決めよう</p> <p>・1学期の仲間意識を育てよう</p>	<p>・1学期の仲間意識を育てよう</p> <p>・1学期の係を決めよう</p> <p>・1学期の仲間意識を育てよう</p>	<p>・1学期の仲間意識を育てよう</p> <p>・1学期の係を決めよう</p> <p>・1学期の仲間意識を育てよう</p>
6月		<p>○「係の発表会」を開催しよう</p>	<p>○「係の発表会」を開催しよう</p>	<p>・虫歯予防について</p> <p>・わが校の誕生</p>	<p>・クラブ活動</p>	<p>・人の話をしつかり聞こう</p>	

7月	◎「係の発表会」 ○お楽しみ会の計画を立てよう ○お楽しみ会をしよう	○お楽しみ会の計画を立てよう ○お楽しみ会をしよう	○夏休みの過ごし方	・花を育てよう ・みんなで踊ろう(レクダンス) ・読書集会	・クラブ活動	・校内学生会 ・終業式	・言葉遣いに気をつけよう ・動作を機敏にしよう ・進んで働こう ・身なりをきちんとしよう ・学校をきれいにしよう
9月	◎学級のまとまりを高める時期 ○互いに励まし合い、協力して活動する態度を育てる	○2学期の係を決めよう ・係の活動計画を立てよう ○係のコーナーを工夫しよう	《2学期の議題例》 ○リレーの走順を決めよう ○運動会を盛り上げよう ○読書発表会の計画を立てよう ○社会見学のグループやバス中のレクリエーションを決めよう ○班新聞コンクールをしよう ○学級の諸問題について ○スポーツに親しもう ○年忘れ集会の計画を立てよう ○年忘れ集会をしよう ○学級新年会の計画を立てよう	○目の健康 ・読書集会	・前期クラブ活動終了 ・後期クラブ活動発足式	・始業式 ・地域清掃奉仕活動 ・運動会 ・視力測定 ・読書旬間	・動作を機敏にしよう ・進んで働こう
10月	◎一人一人の学級内の存在感を高める	○係活動を見直そう	○けがの手当とエイズ ・避難訓練 ○勤労感謝の日に向けて ○参考資料のさがし方	・読書集会	・クラブ活動	・社会見学 ・避難訓練	・身なりをきちんとしよう
11月		・係の自慢発表会	○冬休みの過ごし方	・お楽しみ集会	・クラブ活動	・終業式	・学校をきれいにしよう
12月		○3学期の係を決めよう ・係の活動計画を立てよう ・係新聞を作ろう	○3学期をどう過ごすか ○かせやインフルエンザの予防 ・たばこの害について	・給食週間について ・児童会新役員紹介	・クラブ活動	・始業式	・時間を守ろう ・進んで体をきたえよう
1月	◎一人一人が主体的に活動し、集団の活動や創造力を発揮して魅力ある学級集団を確立する時期	○3学期の係を決めよう ・係の活動計画を立てよう ・係新聞を作ろう	○3学期をどう過ごすか ○かせやインフルエンザの予防 ・たばこの害について	・給食週間について ・児童会新役員紹介	・クラブ活動	・始業式	・時間を守ろう ・進んで体をきたえよう
2月	◎所属感・連帯感を味わわせる	○3学期の係に賞を送ろう	○1年間の反省	・児童会新役員紹介	・クラブ活動	・学芸会	・進んで体をきたえよう
3月	◎お互いの成長を確かめ合う	○3学期の係に賞を送ろう	○1年間の反省	・6年生を送る会	・後期クラブ活動終了	・大清掃 ・卒業式 ・修了式	・一年間の反省をしよう

※ ○印…1単位時間扱い
・印…短時間(20分程度)扱い

3 一人一人のよさが生きる係活動の支援

(1) 一人一人のよさを生かすとは



(『自ら学ぶ意欲を育てる実践事例集』沖縄県教育委員会)

(2) 係活動と当番活動のちがい

子供たちに学級内の仕事を見つけさせると本当にさまざまな仕事を見つけてくるものである。しかし、そのなかには教師の管理的、補助的なものが含まれていることもあり、「係活動とは一人一人のよさを生かし、みんなで創意工夫することによってよりよい学級をつくり上げていく」という本質を理解させるために、子供たちと係活動と当番活動との違いについて話し合い、明確にしていく必要がある。

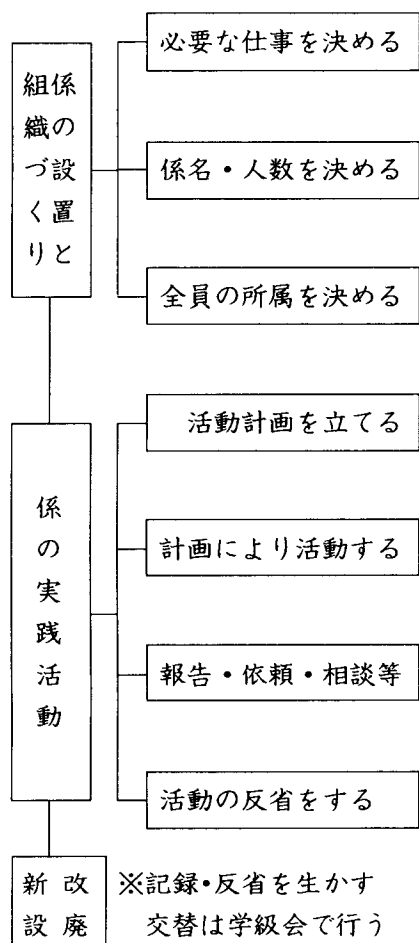
	当 番 活 動	係 活 動
活動の仕方	<ul style="list-style-type: none"> • 学級の集団維持のために必要な係を順番制で。 • 管理的、実務的な仕事。 • 教師の指示が多く入り込み、子供たちの創意工夫があまり生かされない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 学級生活向上のために必要な係を見つけて、立候補により方針をのべながらみんなで決めて行う。 • 個性や特技を發揮した文化的、創造的な活動。
活動の期間	<ul style="list-style-type: none"> • 短期間(例、1週間交替) 	<ul style="list-style-type: none"> • 学級みんなで決めた期間。
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 日常の学級生活を円滑に維持するために行われるもの。 • この活動を通して学級全体のことを考え、責任感や奉仕の精神を養う。 • 友達と協力することの大切さを知ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 文化的内容の質の高さを追い求めていくこと。 • そのことを通して、一人一人の心とからだを成長させていくこと。 • 学級の自治的な力をつけていくこと。
評価の観点 ※評価は学級全体として見る場合とする	<ul style="list-style-type: none"> • 自分に決められた役割をいかに能率よく、完全に近い形で処理できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一人一人の個性が發揮されたか。 • 個々の子供や学級の特色があらわれているか。 • 学級の文化が高まったか。
活動例	管理的、実務的な性格の強いもの <ul style="list-style-type: none"> • 日直 • 清掃当番 • 給食当番 	文化的、創造的な性格の強いもの <ul style="list-style-type: none"> • 新聞係 • スポーツ係 • イベント係 • 集会係 • うたごえ係 • 環境係 • リサイクル係 • 図書係 など

(3) 係活動のめやすと段階的指導の工夫

『係・委員会活動の実践事例集』（教育出版）を参考に作成した各学年の発達段階に即した活動のめやすと段階的指導の工夫を以下に示す。係の種類や数については、各学年の発達段階に即して整理統合され、また学級の実態によっても異なるので、子供の創意工夫を生かしたい。

	低 学 年		中 学 年		高 学 年	
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒にやりたい仕事を見つけ、喜んで活動することができるようにする。 係があると学級生活に都合がよいことが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校でやりたい係や必要な係を決め、仲良く活動できるようにする。 係があれば、学級生活が便利になり、楽しくなることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 低学年での係のある程度整理統合して係をつくり、仕事の内容を明らかにして、簡単な計画を立てて進んで行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の内容を考えながら必要な係をつくり、報告や記録も取り入れた計画的で工夫のある活動ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の内容について創意工夫を生かしながら係相互の関係を考え、自主的に計画し、実践できるようにする。 役割分担について責任をもち、最後まで活動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級生活の充実向上につながる必要な係をつくり、創意工夫を生かしながら、係相互の協力を考えて組織的な活動が自主的にできるようにする。
組 織	<ul style="list-style-type: none"> 教師の助言で、学級生活に必要な係を見つける。 子供たち全員がいずれかの係に所属する。 		<ul style="list-style-type: none"> 学級生活に必要な仕事を考え、教師の助言を得て、整理統合された係を決める。 3～4人で係を組織して、係内で仕事の分担をする。 		<ul style="list-style-type: none"> 学級生活に必要な係を経験や記録を生かして整理統合や廃止をする。 一人一人の特性を生かしながら、係分担を決める。 	
計 画	<ul style="list-style-type: none"> 係ごとに話し合って仕事の分担を決める。 教師の助言を受けながら、係ごとに簡単な活動計画を立てる。 活動する内容と時間をはっきりする。 		<ul style="list-style-type: none"> 係ごとに、簡単な活動計画を立てる。 子供たち全員から、係への要望を集め、計画立案に生かす。 		<ul style="list-style-type: none"> 学期または月ごとの活動計画を立てる。学級全員の希望を取り入れて、創意工夫した活動に生かす。 	
実 践	<ul style="list-style-type: none"> 仲良く助け合って、仕事を進める。 休憩時間、放課後などを使って活動する。 活動したら簡単な記録をつける。 		<ul style="list-style-type: none"> 活動計画により活動する。 係の仕事を協力して進める。 仕事の内容や方法を工夫する。 係の活動を記録する。 		<ul style="list-style-type: none"> 活動計画に基づいて自主的に活動する。 係相互に情報交換しながら、活動の改善を図る。 係活動の記録を継続してつける。 	
反 省 ・ 評 価	<ul style="list-style-type: none"> 活動への自己評価をもとに簡単な反省をさせたり意欲付けたりする。 <p>《評価例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽しく活動できたか みんなでなかよく活動できたか 		<ul style="list-style-type: none"> 週、または月、学期ごとに観点をおさえたい自己評価をさせ、それをもとに反省させたり、意欲付けをする。 <p>《評価例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽しく活動できたか みんなで力を合わせて活動できたか 工夫して仕事をしたか 		<ul style="list-style-type: none"> 週、または月、学期ごとに観点をおさえたい反省をさせる。(個人・係) <p>《評価例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽しく活動できたか 進んで活動したか 計画はよかったか うまく仕事を分担し協力したか 工夫して仕事をしたか 自分の仕事を責任をもって果たしたか 最後まで頑張ったか 	
予 想 さ れ る 係	<ul style="list-style-type: none"> おしらせ係 はる係 本係 せっけん係 つめきり係 花係 金魚係 かたつむり係 ボール係 体育ぎ係 せいどん係 まど係 カーテン係 黒板係 テレビ係 でんき係 きゅう食係 		<ul style="list-style-type: none"> かへ新聞係 学級文庫係 保健係 花係 生きもの係 体育係 日直当番へ移行 給食当番へ移行 		<ul style="list-style-type: none"> 新聞掲示係 図書係 保健係 飼育栽培係 体育係 	

(4) 係活動の組織の仕方



① 係を設置するときの条件を整える

係は、作るというより生まれるようにすることが自発、自治の面から見て望ましい。

中・高学年においては、「こんな学級にしたい」という子供たち一人一人の願いと教師の願いを満たした学級目標を立て、この目標達成に一役買う仕事であって創意工夫できるものを係とするのがよい。

係活動の組織に当たっては、次のような条件が満たされるように適切な助言や支援をすることが必要である。

- 《係を設置するときの条件》-----
- ・子供の必要感から生まれ、学級生活の向上、発展に必要なものであること
 - ・学級生活内の仕事であり、全員で分担処理する仕事であること
 - ・子供の発達段階に即した仕事であり、グループの活動によって処理できるものであること
 - ・子供の自発的・自治的な活動の範囲内であり、子供の創意工夫が生まれる余地のあるものであること
 - ・教師がなすべき管理的な仕事の補助だけにならないようにすること

(青木孝頼・岡本孝司 編 『係・委員会活動の実践事例集』 教育出版)

② 係活動と当番活動の違いについて話し合い、係活動の意義やねらいを理解させる

③ 係の設置と所属を決める

低学年での細分化された係を、中学年では整理統合し、3～4人程度で1つの係を分担させたい。係の設置に当たっては、単に形式的に係名を出し合って係を設置することを避け、自分たちの学級の生活を向上、発展させるためにどんな仕事があるかを考えるようにする。

ア 仕事さがしをする

学級生活をよく見わたして、こんな仕事をしてみたい、こんな仕事をするとう学級が楽しく豊かになる、などについてよく考え、活動の内容や願いを発表し合う。

イ 活動の内容をまとめて係を設置する

出された仕事の内容について十分話し合い、学級全体の組織や男女の協力等についても考えたうえで、必要な人数、男女の割合等についても決める。

ウ 所属の仕方を話し合う

係設定の段階での話し合いをもとに、子供の希望をできるだけ尊重したり、友達からの推薦などをもとに、子供の心理的なつながりが深く、親和的、協力的になりやすい係を組織する。

係によっては希望が偏ることがある。その際、ジャンケンやくじびき等避け、教師が適切に助言して希望の変更を促すようにしたい。

エ 係の名前を工夫する

係の名前をユニークなものにすると、発想を豊かにし、創意工夫する意欲付けとなる。

例…生き物係→生きものばんざい係
音楽係→ハッピーミュージック係など

(5) 係活動への意識化・意欲を高めるための工夫

子供たちの活動過程を大切にし、計画ー実践ー反省のサイクルを繰り返しながら活動内容の充実・向上を心がけたい。

① 仕事分担表の作成

・一人一人の活動の様子が見えてくるように、また、子供たち同士でもお互いの活動の場面を知ることができるよう、仕事分担表を作成する。

② 活動計画表の活用

・一カ月間の予定や一週間の予定を立てさせた活動計画表を作成し、教室に掲示する。(活動内容・役割分担・活動時間を明確にする)
・活動計画表の中に、「工夫すること」も書き入れさせ、活動内容を工夫することを意識付ける。

③ 係のがんばりシール

・活動をしたときには「がんばりシール」の欄にシールを貼ることによって、活動への意欲付けを図る。

④ 活動の場の工夫

《掲示板の活用》

・活動を楽しみ満足することができるように、係からのお知らせ、お願い、新聞などをイラストを交えながらポスター感覚で書き、自由に掲示できるスペースを設ける。

《材料・道具》

・いつでも活動できるように、色紙や画用紙、のり、はさみ、マジックなどを用意している棚を設置する。

《朝の会・帰りの会の活用》

・朝の会、帰りの会に「係コーナー」を設定し、係の発表の場や提案の場として活用する。

例…学習係→学習○×クイズ、
図書係→紙芝居を読む など

⑤ 報告・依頼・相談などの活動の活発化

- ・帰りの会に、「係からのお知らせや係へのお願い」のコーナーを設け、係からのお知らせを伝えたり、みんなへのお願いやアイデアを交換し合う。また、他の係に対してよかったこと、がんばっていたことなど気付いたことを伝える場を作ることによって、これからの活動に対して意欲をもたせる。
- ・係の活動がマンネリ化してきたら、係への「おねがいカード」や「アイデアカード」などに要望や活動の工夫を記入してもらい、それらを資料として活動に生かし、活動内容を豊かにしていく。

(6) 活動反省の工夫

反省の段階では、どんな活動ができたか、どんなところがよかったか、などについて話し合ったり、活動を認め合うことができる場を設けて、一人一人のよさやがんばりを認め励まし合える場としたい。

① 評価の仕方を工夫する

- ・各係ごとの自己評価と学級全体での相互評価を重点とする。
- ・活動をしたときには「がんばりシール」の欄にシールを貼らせることによって、次の活動への意欲付けができる。教師や他の子供たちの側からも、活動状況が一目で分かり、自分たちの活動の様子を振り返る一資料となる。また、お互いに活動を認め合ったり、活動が滞っているときは励まし合うことができる。
- ・毎週金曜日の帰りの会には1週間の係活動の反省を発表し、次の活動への新たなめあてを持たせる。

〈係活動の1週間の反省カード〉

☆評価で重要な視点☆

ア 自己評価や相互評価では、反省よりも成長している点をその中心に書く。

イ 積極的に「よさ」を見いだしていくようにする。

ウ 子供たちの成長感を重視する。

※子供たちの発想への評価は、意欲付けのための評価でなければならない。

② 「係の発表会」や「活動の報告会」をする

- ・学級の一人一人のために役立つ仕事をしたり、楽しくなるような仕事をしている係を互いに認め合わせ、相互のよさに気付くようにする。この意識を広げることにより、自分のよさを発揮し、仕事をさらに見つけたり、創意工夫することにつながるができる。

今日の目標

しごとを分たしてやる。

今日の振り返り度は？	R	S	G	M	H	A	K	おねがいカード アイデアカード シール
1 楽しく活動できたかな？	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
2 目標を覚えて活動できたかな？	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
3 意欲よくがんばったかな？	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
4 工夫しながら活動できたかな？	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
5 毎日がんばり続けたかな？	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

今日の感想

本のしょうかいがよくできた
本をならべた。
面白い本を分けた。

本のたのしさをしらせるのさ
もっとがんばりたい

本のしょうかい 本が読めるよ、よさげな本も分けた。
みんなが面白い本を分けたのさ、よかったね!

V 活動の実際

1 係活動の意義付け（話し合い活動 議題「係って何だろう？」）……………6月11日

1学期の係活動がスタートして2カ月が過ぎた。4月当初はやる気に満ち、進んで活動する係も多く見られたが、5月ごろからしだいに意欲が薄れ、活発に活動する係とそうでない係とに別れてしまった。そこで、係活動の意義について考えさせ、これからの係活動に対してめあてを持たせることによって、今後の係活動への意欲や態度を育てたいと考え、話し合う機会を設定した。

(1) 話し合いのねらい

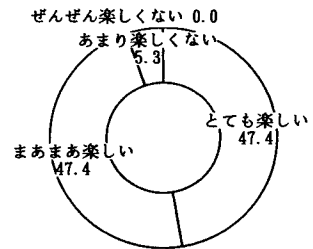
- ・係活動と当番活動の違いを話し合うことによって、係活動の意義について考えることができる。
- ・今までの係活動の様子を振り返り、学級の係活動のめあてを決めることによって、これからの係活動に対して意欲をもつことができる。

(2) 展開

	子供の活動	教師の支援
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・歌を歌う。(レク係) 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊張を和らげ楽しく歌わせる。
展開	<p>1 係活動についてのアンケートの結果を掲示しグラフから気付いたことを発表させ、係活動に楽しく取り組んでいる子が多いことに気付く。</p> <p>2 係活動と当番活動との違いについて考える。</p> <p>3 今までの係活動について考える。</p> <p>4 クラスの中のよく工夫している係について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことを自由に発表させる。 ・楽しみながら活動をしている子が多いことをほめる。
教師の働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・係活動の意義について考える。 ・係活動と当番活動との違いについて考える。 ・係活動と当番活動はどこが違うか ・どちらが係でどちらが当番か 「黒板消し」「新聞」「音楽」 ・係とは何か ・何のために工夫しているのか ・係をうまく活動させるためにはどうしたらよいか 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちからは、明かな答えは出ないと思われるので説明する。 「係…学級を楽しくしてくれるもの当番…その仕事をしなければクラスが困るというもの」 ・「黒板消し」と「新聞」はすぐに答えられると思うので、挙手させた後に、理由を問う。 ・「音楽」のように同じ名前でも係になる場合と当番になる場合があることに気付かせ、係の仕事の内容に着目させる。 ・係活動は強制されるものというよりも発意・発想に基づくものが重視され、創意・工夫のいかんによっては、いくらでも内容に広がりが見られることに気付くように話す。 ・教師が去年のクラスの工夫された活動の様子について例を示し、今のクラスの係活動の工夫された活動を見つけ、発表させる。 「○○係さんは、係新聞を作ってみんなに喜ばれていました。」 「○○係さんは、教室の飾り付けを工夫して、教室の雰囲気明るくしてくれました。」など ・工夫をすることによって自分たちのクラスをよりよくし、より便利にし、みんなの役に立つ活動となることに気付かせる。 ・アンケートの結果の中で、特に選択が多かったものを中心に考えさせる。 1位…友だちと協力する 2位…活動する時間を見つける 仕事をする前によく話し合う 3位…仕事の内容をしっかりとらむ ・今まで話し合ったことに関連付けながら、まとめていく。
自主的た活動	<ul style="list-style-type: none"> ☆係活動のめあてを決める。 5 話し合い 「クラスの係活動をより楽しく活発にするためのめあてを考えよう」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>めあて(決まったこと) みんなで協力して 係の活動を工夫しよう!</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの司会で進める。 ・係の意義を踏まえて話し合えるよう必要に応じて助言を加える。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを終えての感想を発表する。 ・以上のことをもとに、次回の学級活動においては各係に分かれて係活動を見直し、新たな活動計画を立てることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の話し合いでよかったことを励まし、実践への意欲付けをする。

〈アンケート調査結果〉

☆係活動は楽しいですか



☆係をうまく活動させるためにはどうしたらよいか…(略)

(3) 授業を終えて

アンケートの調査結果から係活動について考えていったことは、子供たちが自分たちの問題として受け止め、興味・関心を引き、よかった。

係活動と当番活動の違いを明確にしたことで、係活動の意義やねらいについて子供たちはスムーズに気付き、理解していったようだ。

しかし、1時間の内容が多く、十分には子供たちの考えや意見を発表する時間が足りなくなってしまった。1時間内の内容の精選をし、子供たちが十分に発表できるようにする必要がある。今回は意義についておさえたかったため、教師の指導と子供たちの自主的な活動を組み合わせて話し合う形態を取ったが、内容の精選によってはすべての項目について子供たちの司会で話し合いの運営ができる、さらに子供たちからの意見が活発に出されるのではないかと思う。

2 係活動の見直し（話し合い活動 議題「係活動を見直そう」）…………… 6月13日

前時で話し合った係活動の意義や「みんなで協力して係の活動を工夫しよう」というクラスのめあてを踏まえて、これまでの係活動の内容を見直し、どのような工夫ができるかお互いのアイデアを出し合い、生かしながら、より工夫のある活発な係に育てたいと考えた。

～活動の流れ～

(1) 事前

- ① 係ごとにこれまでの活動の反省をする。
(カードを教室に掲示)
- ② アイデアカードに他の係へのアドバイスを書く。
(朝の会)

(2) 話し合い活動「係活動を見直そう」

◎ ねらい

・これまでの係活動を見直し、友達からのアイデアも取り入れながら工夫ある活動内容を話し合う。

- ① 朝の会で書いてもらったアイデアカードの中からいくつかを紹介し、それ以外にも思いついたアイデアを出し合い、全体で話し合う。(アイデアカードの少ない係を中心に)
- ② 朝や帰りの会の「係コーナー」や掲示板の活用の方について話す。
- ③ 係ごとに分かれてアイデアカードや①で出されたアイデアを参考にしながら活動内容の見直しやどんな工夫ができるかを話し合い、活動計画表に記入する。
・全員の承認を得て作成し、メンバーの役割分担がきちんとなされるように配慮する。
・話し合いの時間を十分にとる。

(3) 事後

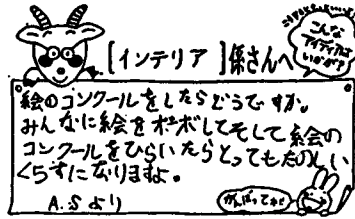
- ① 朝の会や帰りの会を利用して、係ごとに活動計画を発表する。

(4) 授業を終えて

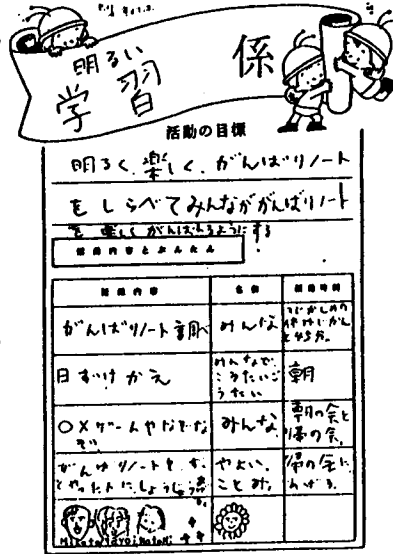
事前に書かせたカードにはさまざまなアイデアが書かれており、子供たちの発想に驚いた。アイデアカードはカードの枚数が多い係と、少ない係があるなど偏りがあったが、全体で話し合う中でカードに書かれた友達の考えをヒントに、新たなアイデアもいくつか出された。

係ごとに分かれて活動内容について話し合ったが、前時で意義やめあてについて話し合ったことが生かされ、友達のアイデアを取り入れながら、以前よりも協力的に話し合ったり、自分から進んで活動する姿が見られ、また活動内容にも自分の特技を生かしたり工夫が見られるようになった。

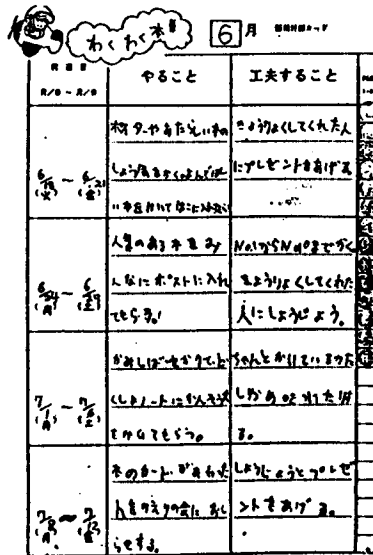
しかし、活動内容にまだあまり工夫の見られない係もあり、原因として「工夫の仕方がわからない」「協力して話し合うことができずにまとまらない」などが挙げられた。今後の実践の中で活動を見守りながら適宜教師の支援・援助が必要であると感じた。



〈アイデアカード〉



〈活動内容・分担カード〉



〈活動計画カード〉

3 話し合い（係活動の見直し）後の活動の様子

子供たちは話し合った活動計画をもとに、進んで係活動に取り組み、朝の会・帰りの会の「係コーナー」での活動や新聞・ポスターなどを作成し、掲示板の活用が活発になった。

(1) 下の表は見直し前と見直し後の活動内容の様子を比較したものである。

活動見直し前と見直し後の様子

※◎印は工夫された活動

《見直し前》	《見直し後》		
係名	主な活動内容	係名	主な活動内容
学習	<ul style="list-style-type: none"> がんばんノートの提出状況調べ。 黒板の日付交換。 	明るい学習	<ul style="list-style-type: none"> がんばんノートの提出状況調べ。 ◎1週間がんばんノートを忘れずにやってきた人を帰りの会で発表する。 ◎なぜなら(朝の会)や学習○×ゲーム(帰りの会)をする。 ◎クイズを募集して、みんなにクイズを出す。 黒板の日付交換。
くばり	<ul style="list-style-type: none"> 手紙、日記、がんばんノートを配る。 	ゆうびん	<ul style="list-style-type: none"> 手紙、日記、がんばんノートを配る。 ◎プリント早くくばりコンテストを開く。 ◎名前をきれいに書いてもらえるよう呼びかけるポスターを作る。
図書	<ul style="list-style-type: none"> 学級文庫の整理。 図書室利用後の後片付け。 本の貸し出し状況を調べる。 ◎本をよく読んでいる人を発表する。 	わくわく本	<ul style="list-style-type: none"> 学級文庫の整理。 図書室利用後の後片付け。 貸し出し状況を調べて、よく読んでいる人を発表する。 ◎人気のある本をアンケートで調べ、朝の会やポスターで本の紹介をする。 ◎本づくりコンテストを開く。 ◎図書に関係のある○×クイズを出す。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 体育の時間の整列や準備運動の世話。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> 体育の時間の整列や準備運動の世話。 ◎準備運動をがんばった人に賞状をあげる。 ◎ドッジボールの練習を呼びかける。
生活	<ul style="list-style-type: none"> つめ調べをする。 机、ロッカーの整理整頓調べ。 	けんこうせいかつ	<ul style="list-style-type: none"> つめ調べ。 机、ロッカーの整理整頓調べ。 ◎きれいに整とんされている人をみんなに紹介する。
生き物	<ul style="list-style-type: none"> 「動物の世話」だったが、生き物が集まらず、ほとんど活動がなかった。 	生き物	<ul style="list-style-type: none"> ゼリガニとカメの世話。 ◎生き物を募集するポスターを作る。 ◎生き物の名前を募集する。
学級	<ul style="list-style-type: none"> ◎帰りの会のゲームを計画する。 ◎楽しい集会活動の計画を立てる。 	わくわく学級	<ul style="list-style-type: none"> ◎帰りの会のゲームを計画する。 ◎クイズの募集をし、みんなにクイズを出す。 ◎絵(イラスト)のコンクールを開く。呼びかけのポスターや入賞者への賞状を作る。
レク	<ul style="list-style-type: none"> ◎ゲームを計画する。 歌を歌わせる。 	レク	<ul style="list-style-type: none"> ◎新しいゲームや歌を計画する。 ◎歌いたい曲のリクエストを採る。 ◎よく歌っている人を調べて発表したり、賞状をあげる。
保健	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察簿を保健室まで毎日取りに行く。 	保健	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察簿を保健室まで毎日忘れずに取りに行く ◎朝一番早く教室に来た人に賞状をあげる。
インテリア	<ul style="list-style-type: none"> 絵や習字などを掲示する。 	インテリア	<ul style="list-style-type: none"> 掲示物をはる。 ◎季節にあった飾り付けをする。
おとしもの	<ul style="list-style-type: none"> 落とし物を拾う。 	おとしもの	<ul style="list-style-type: none"> 落とし物を拾い、持ち主をさがす。 ◎落とし物を減らすよう、ポスターを書く。
先生のお手伝い	<ul style="list-style-type: none"> 先生から頼まれたことをする。 	先生のお手伝い	<ul style="list-style-type: none"> ◎進んでよいことをした人をアンケートで調べる。 ◎よいことをした人に賞状をあげる。 ◎よいことをした人を新聞に載せる。

《朝の会・帰りの会のプログラム》

☆朝の会☆

- 朝のあいさつ
- めあて・学級けんぼう
- けんこうかんさつ
- うた
- 係コーナー
- 今日のニュース
- 先生からのお話し

☆帰りの会☆

- れんらく
- 係からのお知らせ
- 係へのおねがい
- 係コーナー
- (金…今週の係活動の反省)
- レク(うた・ゲーム)
- 帰りのあいさつ

《係コーナーのプログラム》

	月	火	水	木	金	土
朝の会		学		生きもの	図書	
帰りの会	学			学級	お話し	くばり

係活動の1週間の反省

《係新聞&ポスター》

生き物ぼしゅう

レク係

歌のベスト10をきめたいと思います。たのしい歌をレク係にのってね!

たのしいゲームをかんがえた人せつめいをお手紙のうへにある係にかいてね!

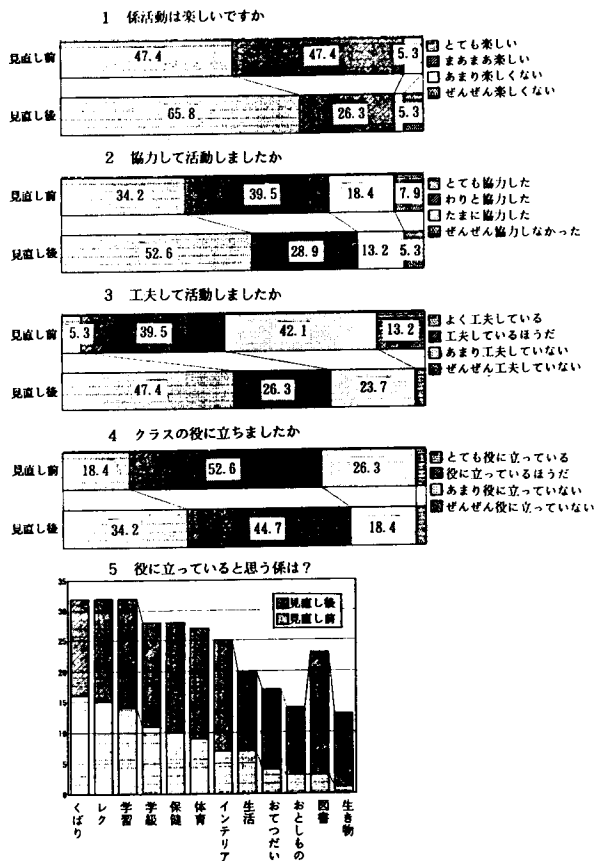
かんばる

ポスター

係新聞

(2) アンケートの調査結果

《アンケート結果の考察》



1. 係の仕事が「とても楽しい」と感じている子が増えた(18人→25人)。このことから、子供たちは以前より係活動に対して満足感を抱いていることが分かる。
 ・「楽しくない」と回答した子は「協力してくれない」というのが理由であった。係内の協力態勢がうまくいくよう教師の手立ての必要性を感じる。
2. 全体的には以前よりも協力しながら活動できるようになってきている。
3. 係の仕事「とても工夫している」という子が飛躍的に伸びている。(2人→18人)。
 ・「係活動の見直し」の時に与えられたアイデアや、その後の活動においての他の係の活動も参考にしながら活動内容を工夫したと思われる。
 ・「工夫していない」と答えた子の中には、「工夫の仕方が分からない」という子もいるため、教師の支援が必要であると思われる。
4. 係の仕事が「とても役に立っている」と感じている子も増えた(7人→13人)。
 ・「役に立っている」と答えた子のほとんどが「とても工夫している」という子であった。このことから、子供たちは工夫することによって、クラスの役に立つということを感じているのではないと思われる。
5. 「役に立っていると思う係」では、全体的に票が伸びている。
 ・特に伸びた図書係は、今までよりもみんなの前で行う工夫された活動がとて増えたためであると思われる(係コーナーの活用)。
 ・当番的な活動であっても、「役に立つ」と感じるのはみんなの前で活動が見える係のようだ。このことからどの係にもみんなの前で活動する出番を与え、お互いのがんばりやよさを認め合う場を設けることが必要であると考えられる。

(3) 考察

アンケートの調査結果からも分かるように、子供たちの係活動に対する意欲は以前よりも増し、活動も活発になった。係活動の見直し後、活動の場(時間・場所)を利用し、お知らせのポスターを掲示したり、イベントを計画してみんなを楽しませたり、がんばった人に賞状をプレゼントするなど、自主的に、工夫して活動する姿が見られた。初めのうちは「どのように工夫したらよいか分からない」と言っていたが、他の係の発表や活動の様子をヒントにして、少しずつ工夫された活動を取り入れることができるようになってきた係もあった。

また一週間ごとの係活動の反省の中で、「計画を立てたことが実行できて楽しかった」「来週は○○をがんばりたい」など、活動への満足感や、次の活動への意欲も現れていた。

このことから、朝の会や帰りの会を積極的に活用し、子供たちに活動する時間や活動の場を与えることは、係からの発表や提案を通してみんなが活動を認め合い、次の活動への意欲をかきたて、創意工夫を促すことができ、係活動を活性化するのに有効であると思われる。

4 係の発表会（集会活動）……………7月11日

学級活動指導案

平成8年7月11日(木) 第3校時
 4年3組(男子18名、女子20名、計38名)
 授業者 上原 奈美

(1) 題材名 「係のがんばり発表会」

(2) 題材について

小学校中学年の子供たちの発達特性をみると、知的好奇心が旺盛で、自分を取り囲む環境に興味をもつようになり、「なにか楽しいことがしたくてたまらない」といったやる気に満ち、極めて活動的である。仲間意識が強く、集団に進んで参加し、集団での活動を好んで行う。また、一人一人の個性もしいにはっきりと現れるようになり、集団の中での役割も明確になりつつある時期である。

このような発達特性から、生活の中での友達との関わりが大きな影響力をもつこのような時期にこそ、係活動への関心・意欲・態度を育てることで、その目標にある「集団の一員としての自覚」「集団活動への積極的参加」「自発的・自治的実践活動」がより期待できるのではないかと考える。

子供たちは係活動の見直し後、それぞれの係で活動内容を工夫し、楽しみながら活動をしてきたが、「係のがんばり発表会」という発表の場を設けることにより、発表という目標に向かって係活動をさらに活発化させる意欲付けを図るとともに、「一人一人がんばったんだな」という満足感を味わわせたい。そして、発表会を通してお互いの係のがんばりやよさを認め、感謝し合う会にし、自分たちが積極的に取り組む実践活動への意欲を高めるとともに、学級生活の充実・向上に対する満足感を味わわせたい。また、まだ工夫の仕方がわからず当番的で単調な活動内容の係には、他の係の発表を次の活動内容へのヒントとしたり、友達からのアドバイスや教師からの支援・援助を受けながら、2学期の係活動が楽しく創意工夫された活動となるよう発展させたい。

(3) 指導計画

	子供の活動	指導上の留意点
事前	1 話し合い 「係のがんばり発表会の計画」	・「係のがんばり発表会」のねらいを明確にして、発表の具体的な内容や方法について話し合わせることで、発表会までに必要な準備に見通しをもつことができる。
	2 準備	・子供たちの活動の様子を励まし、がんばりを認め、賞賛し、活動する意欲付けをする。 ・限られた時間の中で、準備がスムーズに行われるように教師は個々の活動過程を見守りながら、適宜支援・援助をする。
本時	3 集会 「係のがんばり発表会」	・一人一人が自分のよさを発揮し、お互いの係活動のがんばりやよさに気づき、認め合えるようにする。 ・一人一人が自分の役割意識をもち、進んで活動できるようにする。 ・成功感につながるよう、できるだけ子供に任せる。教師は最小限の助言に努める。
事後	4 反省・評価	・感想を発表することによって、努力した成果や喜びを感得させ、2学期の係活動への意欲付けを図る。

(4) 話し合い後の実践の様子
 発表会に向けて、係間で協力し、持ち時間内で発表できるようにストップウォッチを使って練習するなど、休み時間も利用して楽しみながら熱心に準備を進めていた。教室の飾り付けもインテリア係と協力して自分から手伝う子も多く、発表会に向けて意欲的に取り組んでいた。

(5) 本時の活動

① ねらい

- ・発表方法を工夫し、みんなの前で堂々と発表することができる。
- ・それぞれの係の発表を通して、お互いのがんばりやよさを認め合うことができる。
- ・創意工夫した各係の仕事内容を理解し、2学期の係活動をより主体的に取り組もうとする意欲をもつことができる。

② 授業仮説

係活動の発表の場において、一人一人のがんばりや次の計画を発表させることにより、自分のよさを発揮することができ、さらに、お互いのがんばりやよさを認め合うことにより、係活動への充実感や成就感を味わわせ、これからの係活動をより主体的に取り組もうとする意欲を高めることができるであろう。

③ 活動計画

集会名	係のがんばり発表会																																	
めあて	みんなで協力して楽しい発表会にしよう。																																	
司会	学級係	かざりつけ	インテリア係	日時	7月11日(木) 3校時	場所	教室																											
時間	活動の流れ			教師の支援			準備																											
1分	1 元気よくはじめのあいさつをする。(司会)			※自分の番にはすぐに発表できるように必要な道具などを準備しておく。 ※事前に指導しておく。(発表態度、聞く態度)			※各係に必要なもの																											
4分	2 楽しく歌を歌う。(レク係)			・歌を歌うことで緊張を和らげ、リラックスした楽しい雰囲気づくりをする。			※CDラジカセ																											
各係	3 各係の発表をする。			・発表するとき、発表を聞くときの視点を与え、お互いのがんばりやよさに気付き、認め合えるようにする。																														
3 分	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>《発表の順番》</td> <td>《発表内容》</td> <td>《方法》</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>生き物係……………生き物ビデオクイズ……………</td> <td>(ビデオ)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>お手伝い係……………おてつだいクイズ……………</td> <td>(ビデオ)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ゆうびん&保健係…歯について……………</td> <td>(OHP)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>学習係……………学習がんばりクイズと賞状のプレゼント…</td> <td>(ビデオ+賞状)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>スポーツ係……………スポーツクイズ……………</td> <td>(フラッシュカード)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>わくわく本係……………紙芝居とおもしろい本ベスト10……………</td> <td>(紙芝居)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>けんこう生活係……………メダルのプレゼント……………</td> <td>(メダル)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>おとしもの係……………おとしもの〇×クイズ……………</td> <td>(フラッシュカード)</td> </tr> </table>			《発表の順番》	《発表内容》	《方法》	1	生き物係……………生き物ビデオクイズ……………	(ビデオ)	2	お手伝い係……………おてつだいクイズ……………	(ビデオ)	3	ゆうびん&保健係…歯について……………	(OHP)	4	学習係……………学習がんばりクイズと賞状のプレゼント…	(ビデオ+賞状)	5	スポーツ係……………スポーツクイズ……………	(フラッシュカード)	6	わくわく本係……………紙芝居とおもしろい本ベスト10……………	(紙芝居)	7	けんこう生活係……………メダルのプレゼント……………	(メダル)	8	おとしもの係……………おとしもの〇×クイズ……………	(フラッシュカード)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《発表するとき》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに聞こえる声で ・はきはきと ・次の計画も発表しよう! <p>《発表を聞くとき》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しずかに聞く。 ・がんばっていたところ、よかったところ、工夫されてよかったところを見つけよう! </div>			※ビデオ ※OHP
《発表の順番》	《発表内容》	《方法》																																
1	生き物係……………生き物ビデオクイズ……………	(ビデオ)																																
2	お手伝い係……………おてつだいクイズ……………	(ビデオ)																																
3	ゆうびん&保健係…歯について……………	(OHP)																																
4	学習係……………学習がんばりクイズと賞状のプレゼント…	(ビデオ+賞状)																																
5	スポーツ係……………スポーツクイズ……………	(フラッシュカード)																																
6	わくわく本係……………紙芝居とおもしろい本ベスト10……………	(紙芝居)																																
7	けんこう生活係……………メダルのプレゼント……………	(メダル)																																
8	おとしもの係……………おとしもの〇×クイズ……………	(フラッシュカード)																																
5分	4 各係の発表を聞いての感想を発表する。			・楽しかったこと、自他の係のよかったところ、がんばっていたところ、工夫されてよかったところを中心に発表させ、次の活動への意欲を持たせる。																														
2分	5 先生からの話を聞く。			・どの係も準備から当日の発表まで精一杯がんばったことを認め、今日の発表を参考に、2学期の係活動も、工夫して楽しく活動できるように励ます。																														
1分	6 おわりのことばを言う。(司会)																																	
事後	7 活動のふりかえりカードを書き、発表する。			・発表会を終えての感想やこれまでの係活動を振り返り、自分や友達のがんばったところ、よかったところを見つけて書き、他の係の発表を自分のものに生かすことができるようにする。また、感想を発表させることによりお互いのよさを認め合うことができるようにし、今後の係活動をより主体的に活動しようとする意欲を高める。			※ふりかえりカード																											

④ 評価

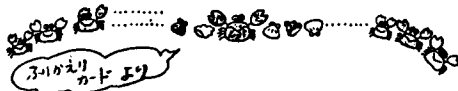
《評価の場》

- ・発表方法を工夫し、堂々と発表することができたか。 【表現・技能】(活動発表の場)
- ・発表を通して、友達のがんばりやよさに気づき、認め合うことができたか。 【思考・判断】(ふりかえりカード)
- ・2学期の係活動に対して、より主体的に取り組もうとする意欲をもつことができたか。 【関・意・態】(活動・感想発表の場、ふりかえりカード)

(6) 授業研究会からの反省と課題

- すべて子供たちの手で運営され、どの子も生き生きと精一杯発表していた。
- 発表方法がバラエティーに富み、楽しい発表会であった。
- 発表はクイズ形式で行う係が多かったが、これまでの活動のあゆみが見える内容が加えられるとよかった。(活動の流れに沿った発表)
 - ・これまでの係活動を振り返ることができる。(自分たちの活動・他の係の活動)
 - ・活動を振り返ることで、学級生活態度を振り返ることができ、今後の活動への目的や意欲を持たせることができる。
- 感想を述べるところで、教師からの発言の場面があったが、教師も挙手をして司会の子に指名されてから意見を言った方が「教師も一緒に参加している」という感じが出てくる。

《発表会の感想》



発表会にむけて私たちは、HPシートなどに虫歯があったけど、どうやってなおしたか、虫歯が歯にどうして生じたか、歯をどうしてきれいに保つておくか、などを書きました。

先生がたに見うれてドキドキしたけれど、みんなが手を合わせて、がんばったので、よかったと思います。

今度ちがう係になっても、係がどうもがんばりたいです。発表会おもしろかったです。



みんな発表会にむけていろいろながんばりをかかっていたの、発表会になったと思っています。

2学期の後活動ではみんなに本のたのしさをわかってもらえるように、たのしい本のポスターをかいてはっておきたいと思います。また、いろいろなふうとしてがんばりたい。



《発表会の様子》



「たのしい本No.1は...」



「〇か×か？」



「〇」

VI 研究の成果と今後の課題

1 研究の成果

主体的に活動する意欲を育てる学級づくりをめざす上で、一人一人のよさを生かし、「係活動」の活性化を図ることが子供の意欲をかきたて、主体性を育てることに効果的であると考え、文献や資料を参考にしながら理論について学び、数回にわたって授業実践を試みた。その成果として、わずかではあるが子供の意識の変化や具体的な活動の場においても行動の変化が見られた。学級生活についての意識調査を行った結果からも、子供たちの変容が見られ、成果をあげることができたと考える。

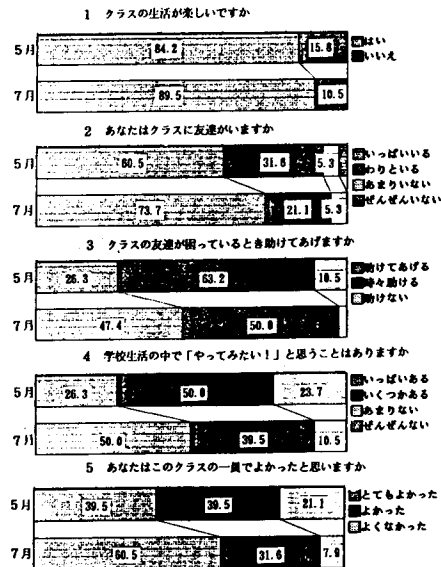
係活動の面においては、

- (1) 係活動の意義や仕事内容について話し合うことで、係活動に対する一人一人の意識を高め、活動への意欲や態度が育った。
- (2) 活動の時間や活動の場を設定し、朝の会や帰りの会の活性化を図ることによって、子供同士の相互交流が行われ、創意工夫し、楽しく意欲的に活動するようになった。
- (3) 発表の場を設けることによって、子供たちがお互いのがんばりやよさを認め合うことができ、また係活動に対する充実感・成就感から次の活動への意欲付けができた。

2 今後の課題

- 教師の支援・援助の在り方。
 - ・係内の望ましい人間関係づくり。
 - ・一部ではあるが、まだまだ活動への意欲的な参加が見られない子がいたので、継続的な子供たちの実態把握や具体的な手立ての方法、励まし、賞賛など。
- 係活動を継続、発展させるための活動時間の確保。

《学級生活についてのアンケート調査結果》



〈主な引用・参考文献〉

文部省 「小学校 特別活動 指導資料 指導計画の作成と指導の工夫」	全教団	1991年
文部省 「小学校 特別活動 指導資料 新しい学力観に立つ特別活動の授業の工夫」	東洋館出版社	1995年
下村哲夫・天笠茂・成田國英 編著 「学級経営の基礎・基本」	ぎょうせい	1994年
中村満州男 編著 「学級経営70のポイント」	東洋館出版社	1994年
沖縄県教育委員会 「特別活動指導資料 学級活動」		1995年
沖縄県教育委員会 「自ら学ぶ意欲を育てる実践事例集」		1996年
青木孝頼・岡本孝司 編 「係・委員会活動の実践事例集」	教育出版	1991年
青木孝頼・岡本孝司・成田國英 編 「係活動の育て方」	ぎょうせい	1986年